

食品に関するリスクコミュニケーション

食品中の放射性物質をめぐる震災からの歩み

—これまでを知り、明日の消費行動を考える—



東日本大震災発生における東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故を受け、食品中の放射性物質については、基準値を設定し、これに基づき、出荷制限などが行われてきました。震災から7年以上が経過し、関係者による低減対策等により、現在では、基準値を超える食品はほとんど検出されなくなりました。一方で、震災直後と比べ報道等を通じ関連情報を得る機会が減り、現状を知らずに不安を抱える方もいらっしゃいます。

そこで、この意見交換会では、放射性物質の基礎知識や、食品中の放射性物質について専門家・行政からの情報提供を行うほか、実際に福島県内で農業を行っておられる生産者の方をお招きし、生産現場で行われてきた様々な取組や現状等について伺います。また、消費者の皆様が普段の生活の中で抱えている疑問や不安について意見交換を行います。

この機会を通じて、私たちの食べ物について、改めて考えてみませんか。

日時 11月22日（木） 13：30～16：30 受付開始時間13：00～

会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪駅前4階 トワイライトB+C
大阪府大阪市北区曽根崎新地2-3-21 axビル 4F

アクセス JR大阪環状線 大阪駅 中央口 徒歩5分

定員 150名 ※お申込み多数の場合、
抽選とさせていただきます
場合がございます。

参加費 無料



◆**保育ルームをご用意しています**◆ ご希望の方は11月15日（木）12：00までにお申し込みいただき、その旨お書き添えください。改めて事務局からご連絡いたします。

プログラム

- (1) 行政担当による情報提供
「食品中の放射性物質～震災から7年の歩み～」 消費者庁
- (2) 基調講演
「放射線の基礎知識と食品中の放射性物質」
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院
放射線腫瘍学講座 助教 佐藤 久志 氏
- (3) 生産者による情報提供
「福島県の農林水産現場の現状について」 仮題
株式会社 新妻有機農園 代表取締役 新妻 良平 氏
- (4) 行政担当による情報提供
「食品中の放射性物質の対策と現状について」
「食品のリスク認知等に関する調査」 厚生労働省・農林水産省
内閣府食品安全委員会
- (5) 会場との意見交換
ファシリテーター：国立大学法人 長崎大学 客員教授 堀口 逸子 氏
パネリスト：佐藤 久志 氏、新妻 良平 氏、消費者等
質疑対応：消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省

申込締切：平成30年11月15日（木）必着

【主催】 消費者庁 内閣府食品安全委員会 厚生労働省 農林水産省

【共催】 大阪府

※お問合わせ・お申込み方法は、裏面をご覧ください。

